

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25 38	これまでの暮らし(生活暦、心身の状況や現状)を把握を職員全員が出来 日々のその人らしい生活が行える	利用者がその人らしく、ゆっくりと過ごせる ※利用者に寄り添い、楽しい雰囲気作り	日常の業務に覆われず、ゆとりのある介護ができる。※介護技術の向上 ※チームワーク作り ※業務の見直し (介護力をつける)	12ヶ月
2	23	利用者の方の思いや意向を把握し、検討し出来る範囲での実施をしてはいるが、出来ていない利用者の方もいる	利用者全員が個々の願いや思いをかなえられる(状況に応じ随時行える方と数ヶ月に1回や年1回の方のばあい有る)	個々に担当者をつくり、本人の思いや願い等を十分に聞き把握し、話し合い希望が叶えられるようにする※場合によっては家族の方と話し合う	12ヶ月
3	36	一人ひとりの尊重やプライバシーの尊重を常に心がけ接しているが、状況により不十分な場合がある	指示語や、排泄誘導は大きい声で行わない(声のかけ方や接し方に職員一人ひとりが配慮する)	声のかけ方、接し方を職員同士で声の掛け合いをしていく。介護方法や接し方の勉強会を実施 ※自分が言われて嫌な事は相手にも言わないよう心掛ける ※笑顔で接する ※ゆとりのある介護	12ヶ月
4	1	運営理念の必要性、意義が出来ていない職員が居る	職員全員が理念の意義が理解できる理念を作成し、日々実践し目標の到達が出来る	年度始めのミーティングにて職員全員で話し合い理念を作成し、随時お互いに働きかけていくミーティング等で作成した理念を実践出来ているか確認し、1年後に目標達成出来る様に、問題点などを話し合っていく※理念をつくり、それに伴い個々の目標を作成し実施していく	12ヶ月
5					12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。